

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 大学家畜衛生連携事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2885)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,106 千円 (前年度予算額：2,632 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,632	0	0	0	0	0	0	0	2,632
要求額	2,106	0	0	0	0	0	0	0	2,106
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・平成26年3月20日、岐阜県と岐阜大学との間で「家畜衛生に係る教育及び防疫等の連携に関する協定」を締結。
- ・本協定では、家畜衛生に関する教育及び地域の家畜防疫体制等を促進・強化するため、両者が行う教育・学術研究及び防疫・保健衛生対策に係る活動において連携と交流を図り、相互の一層の進展と地域社会の発展に資することを目的としている。
- ・平成29年には、岐阜大学敷地内へ中央家畜保健衛生所が移転したことにより、新たな家畜衛生連携体制を岐阜大学と構築し、家畜防疫体制の強化を図っている。

(2) 事業内容

- ・岐阜大学との協定に基づき、県と岐阜大学が連携して次の事業を行う。
 - ①家畜衛生の教育に関すること
 - ②家畜疾病等の学術研究に関すること
 - ③家畜の防疫・保健衛生対策に関すること
 - ④その他、両者が必要と認めること

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	115	職員旅費
需用費	955	消耗品費、燃料費、印刷製本費
役務費	37	郵便代、電話代
委託料	956	家畜疾病に関する学術研究委託
使用料	43	高速道路利用料
合計	2,106	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（R1～5）
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2)安らかに暮らせる地域
 - ④災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・新「ぎふ農業・農村基本計画」（R3～7）
 - (2) 安心で身近な「ぎふの食」づくり
 - ④家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ①家畜衛生の教育に関すること：獣医学生や家畜防疫員等に対する家畜衛生教育や家畜衛生に関する知識向上等のための講義を実施する。
- ②家畜疾病等の学術研究に関すること：家畜疾病の診断方法の確立や調査研究を実施する。
- ③家畜の防疫・保健衛生に関すること：防疫体制の確立や農場における指導体制の整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

事業目標で掲げた連携事業の具体的な方策は、知識向上や研究方法の確立、農場における体制整備に関する事など制度の設計にすることが主目的であり、具体的な指標を設定することができない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- ・岐阜大学学生の学生実習の実施、県業績発表会の開催
- ・野生いのししに寄生するダニ・ウイルスに関する学術調査研究
- ・鳥インフルエンザにかかる防疫演習の実施

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・獣医学生や県家畜防疫員への衛生教育実施による知識の向上
- ・委託事業の実施結果を農家へ周知することによる衛生対策の強化
- ・防疫演習の実施による職員の知識向上

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
○	家畜衛生に関する教育及び地域の家畜防疫体制を促進・強化するため、県と大学が連携し、教育及び学術研究及び防疫・保健衛生対策に係る活動を実施する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
○	獣医学生や家畜防疫員等の人材育成、家畜防疫体制の整備や強化が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
○	県と岐阜大学がそれぞれの知見を活かしながら連携して事業を実施することで、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・本事業を通じて育成した産業動物獣医師の確保

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・中央家畜保健衛生所が岐阜大学敷地内にある利点を生かして、引き続き家畜衛生に関する教育及び地域の家畜防疫体制等の促進・強化を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	